

議会だより

9月定例会 No.150
平成25年11月1日

発行：岐阜県池田町議会

い け だ

Ikeda



八幡乳くれ地蔵まつり 8月18日

- | | |
|-----------|------|
| ★9月定例会 | 2～4p |
| ★質疑あれこれ | 5～6p |
| ★一般質問 | 7～9p |
| ★きらり・編集後記 | 10p |



第16回 水郷まつり 2013年8月18日
中川水郷公園・多目的広場(踊りと花火で人・人・人!)

第3回 定例会

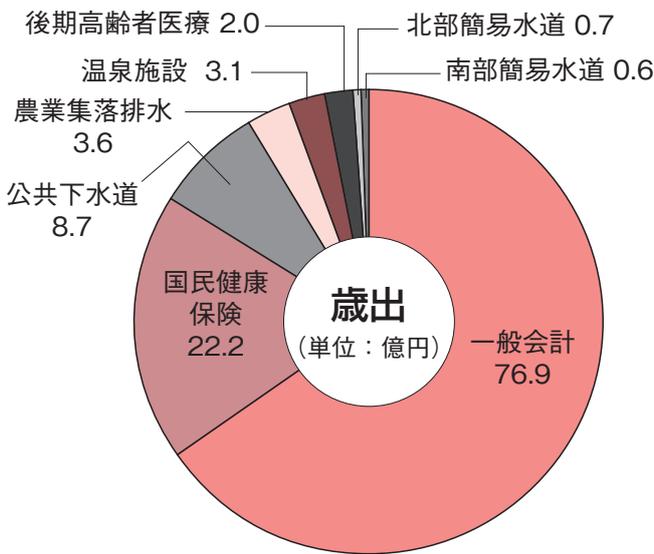
平成24年度 決算を認定

9月6日
▼
9月13日

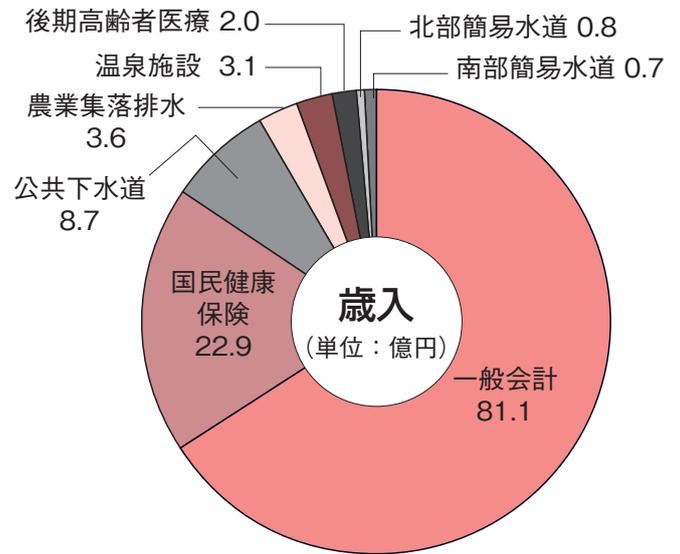
〈一般会計〉 歳入 **81億1207万円** (前年対比1.5%減)

歳出 **76億9765万円** (前年対比1.5%減)

〈特別会計〉 7会計及び事業会計認定



水道事業会計（収益的支出）2.0億円



水道事業会計（収益的収入）2.3億円

- ★固定資産評価委員

河野 和通(新)

宮地

★選挙管理委員補充員

竹中 保子(新)

河本 幸子(再)

窪田 康子(再)

河村 壽美(再)

願成寺

★選挙管理委員

國枝 清(再)

香田 九十九(再)

坪井 秀人(再)

山田 勇(新)

市橋

藤代

粕ヶ原

段

人事案件

(敬称略)

9月議会の内容

- ◎24年度決算の認定 9件
- ◎25年度補正予算 9件
- ◎池田町民の歯と口腔の健康づくり推進条例（平成25年10月1日から施行） 1件
- ◎人事案件 2件
- ◎指定金融機関の指定 1件
- ◎水道事業会計未処分利益剰余金の処分 1件
- ◎道州制導入に断固反対する意見書提出（追加議案）

賛成多数で原案可決

指定金融機関の指定について

町の指定金融機関を平成25年10月16日から（2年間）いび川農業協同組合池田支店に指定。

〈24年度健全化判断比率〉

- ◎実質赤字比率（黒字決算のため該当なし）
- ◎連結実質赤字比率（黒字決算のため該当なし）
- ◎実質公債費比率 10.7%（昨年11.8%→1.1%改善）
- ◎将来負担比率 59.8%（昨年61.4%→0.1%改善）

〈24年度資金不足比率〉

- ◎北部簡易水道事業特別会計資金不足比率
 - ◎南部簡易水道事業特別会計資金不足比率
 - ◎農業集落排水事業特別会計資金不足比率
 - ◎公共下水道事業特別会計資金不足比率
 - ◎温泉施設特別会計資金不足比率
 - ◎水道事業会計資金不足比率
- （全て黒字決算で該当無し）

監査委員の決算審査意見

一般会計・特別会計の決算はいずれも誤りなく、帳票及び諸帳簿類等もよく整備され会計・経理は適正であった。

池田町の平成24年度の財政運営に関しては、住民への情報開示や長期的な視野に立った経営的発想等きわめて適切であったと言える。

又特別会計や第三セクターについても、合理的、適正化に向けて努力され、監査委員としてもその姿勢を高く評価する。

問題は「忍び寄り高齢化」に対して積極的な対応が大切な時代に入ったと言える。

現在町長が主導しておられる医療機関の誘致は、「福祉の町」に相応して時宜を得たもので、住民からも高い評価が得られると思われ、今後もこのような高齢者福祉分野への対応に先手を打って推進されることを切望する。

平成24年度国民健康保険特別会計決算

歳入 **22億97百万円**
（前年度対比 2.74%増）

歳出 **22億18百万円**
（前年度対比 2.11%増）

(H24実質収支) - (H23実質収支) +
79,172千円 - 63,840千円 +

(基金積立金) - (基金取崩金)
21千円 - 0千円

= (実質単年度収支額)
= 15,353千円 (黒字)

平成25年度一般会計補正予算

3億8百万円を追加して総額77億3千万円

歳入の主なもの 繰越金 **2億47百万円**
町債 **37百万円**

歳出の主なもの 財産管理費(積立金) **1億8千万円**
土木費 **74百万円**

2千3百万円を増額して61億2千万円とする。

歳入の主なもの 国庫支出金（介護給付費負担金） 1千2百万円

歳出の主なもの 諸支出金（国庫支出金等償還金） 1千6百万円

道州制導入に断固反対する意見書（抜粋）

追加議案・賛成多数で可決

我々町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々池田町議会は、道州制の導入に断固反対する。

提出先

衆議院議長 伊吹 文明 様
 参議院議長 山崎 正昭 様
 内閣総理大臣 安倍 晋三 様
 内閣官房長官 菅 義偉 様
 総務大臣 新藤 義孝 様

八幡小学校校舎改築工事現場視察（9月9日）

学校教育課・設計事務所・施工業者の案内と説明で工事の進み具合などを研修しました。



内装工事が順調に進んでいる。

養老鉄道・養老線の収支推移

（単位：百万円）

	H23	H24
営業収入	1,032	1,011
旅客収入	1,007	986
定期外	422	413
定期	585	573
通勤定期	320	312
通学定期	265	261
その他	25	25
営業費用	1,961	1,939
人件費	701	692
修繕費	2	2
経費	1,253	1,242
諸税	1	1
減価償却費	4	2
営業損益	△ 929	△ 928
営業外損益	5	5
経常損益	△ 924	△ 923
営業係数	190	191

※営業係数とは、100円の収入を得るために必要な費用。

質疑 あれこれ

9月議会に上程された議案の中から
主な質疑を要約してお知らせします。

総務建設産業委員会

問 新規就農総合支援事業

の内容は。

答 イチゴやトマトなどの生産に、新たに携わった町内の2名の方に農業経営が軌道に乗るまでの間、給付金の交付を行う国の事業。

問 土地開発公社の今後のあり方は。

現在保有土地の簿価総額を縮減するため、29年度末の保有比率を10%

下げ、その後5カ年かけ事業用地の解消に努めていき、公社を解散するよう計画している。

問 産地づくり事業補助金の目的は。

答 新たな品目による特産品づくりに向けて

問 町営住宅の管理状況は。

退去された場合は取り壊していき、将来的には集中管理していきたい。規定に従い入居していただいているので、規定を順守していただくよう徹底し、滞納者に対しては毅然とした態度で臨んでいく。

問 町水道施設の年間収水量確保への対応は。

答 深夜使用水量が最小となる時間帯における流量を中央監視盤で確認し、一定以上の水量が流れている場合は漏水が疑われるので、データを監視して判断して対処していく。



流量を中央監視盤で確認（水道課）

問 農業集落排水事業の接続率が低い地区があるが、その理由は。

答 主に高齢者世帯が他の地区より多いことにより、将来的なことを考慮して接続していただけないと考える。

問 池田温泉施設浴槽清掃委託料の内訳は。

答 毎日の営業前や夜間、更には定休日に浴槽、サウナ、ロビー、トイレ、脱衣場などの清掃や床のワックスがけを含んだもので、今後とも全体的に見直しをす

問 野生生物保護管理事業補助金の内容は。

答 シカの増加率が高いので、県の許可のもと、従事者に報奨金を出して駆除するもの。

問 徳谷の土砂堆積箇所（小寺・山洞地内）への対応は。

答 現場は土砂が堆積しやすい形状であり、土砂の除去については関係機関へ依頼している。

問 ふるさと支援まちづくり寄付金の内容は。

答 寄付金制度は平成20年度に制定されたもので、今回は寄付者の希望もあることで養老鉄道の活性化等に充当する。

るなか、節約に努めていく。

問

池田町民の歯と口腔の健康づくり推進条例制定の主旨は。

答

歯と口腔の健康を保持することにより生活習慣病や介護の予防、食育の推進等を図り健康づくりを総合的かつ計画的に推進するもので、障がいがある方や介護を必要とする方などへの訪問は、関係機関で検討する。

問

総合相談事業のなかの結婚相談の成果は。

答

ここ1〜2年では成果はないが、昨年5月に開催したスポーツ婚活では男女各21名が参加し、カップルが2組誕生している。今年も社会福祉協議会主催で開催予定。

問

昨年開催の国体の総括は。

答

総合体育館や自治会館などの施設の充実が図られた。また国体を契機に町民の体力向上やスポーツ少年団の育成に効果があり、更には民泊を実施したことにより、応援にも力が入り、また町民の気持ちは一つになり、地域のつながりなど、幅広くいい影響があったので、今後の町政にも生かしていきたい。



コートと観覧席が一体となった昨年の国体(総合体育館)

問

学校給食センターの建替え計画は。

答

毎日2、700食をつくっており、機器等も含め、建物も老朽化しているので検討中であり、年内には方向付けをしたい。

問

過日の大雨の際、教育委員会の対応は。

答

警報が出た時は自宅待機するなどの基準に従い判断しているが、状況によっては各学校で判断することも必要と考える。



築後35年経過した学校給食センター(草深地内)

問

南部公園植栽工事、ふじ棚の内容と今後の管理は。

答

長さ10・5メートル、幅6メートルの鉄骨製で、植栽の手入れについては管理人が行っているが、今後、適正管理に努めたい。

問

八幡小学校校舎空調設備配管工事の内容は。

答

天井裏など、今後エアコン取り付けの際、二度手間にならないよう、先行して行う工事。



本年12月完成予定の八幡小学校校舎改築工事(空調用ダクト)

問

損斐川河川敷のサッカーグラウンドに熱中症予防のために、水道施設や日よけを設置できないか。

答

仮設のトイレなどは設置できるが、固定の構造物は国土交通省の許可が難しい。サッカーコートについては、池田公園の多目的グラウンドを拡張する方向で検討していきたい。



仮設トイレしかない広域グラウンド(杉野地内)

まちづくり応援団の結成について



渡辺幸一 議員

地域づくり事業等に住民の知恵や提案を生かすため各地域で住民主体の組織を結成し、定期的な検討会を開き活動するための応援団にまちづくり事業補助金を創設し、住民参加のまちづくりを進めていく考えは。

町長

当町において、町づくり条例を町民の皆さんとも議論をさせていただき、提案を受けて、制定した。

一つの例として、文化祭は、どこの町村でも町が主体になり開催しているが、当町は文化連盟が主体で開催している。今年で26回になり補助金は毎年60万円交付している。また、それ以外にNPO法人



昨年の文化祭の様子（中央公民館）

公共施設の老朽化対策について



美濃国山麓クラフト展
（大津谷公園一帯）

にも活動支援体制をするための補助金要綱をつくり、平成18年に300万円の予算を上程し審査をして、補助金を交付している。今後も進めていく。

各地域の魅力を発信していただいている直近の例として、宮地地区のクラフト展にも補助金を交付している。これからも町民の皆さんから要請が出れば、洪ることなく、きちんと支援していく。そして、一緒に活力ある地域づくりに取り組んでいく。



池田温泉本館機械室内部の状況

高度成長期に建設された多くの公共施設、いわゆるインフラの老朽化は100%発生することが確実な、緩やかな災害とも言われている。当町においても池田温泉で天井が落下し、けが人が出た事案がある。池田温泉は、当町の観光施設の目玉である。その施設である本館棟は築17年が経過し、建物は22年にリニューアルされたが、温泉の心臓部である、ろ過装置、ボイラーは更新の時期にきていると思う。他にも公共施設があるが、計画的な対策をとっているの

町長

か、緊急に必要な補修にとどまっているのか、現状と今後の対応は。

池田温泉のろ過機については、毎年メンテナンスを実施している。ボイラー設備については、更新の時期にきているので考えていく。他の施設については全ての施設が昭和50年代に建設され、緊急性の高い順に対策していく。多くの予算を投入しなくてはならないため、慎重に財政計画とあわせ実施していく。加えて、道路関係、特に長大橋が38橋ある。免震対策を含め、長寿命化を図る時期にきている。災害時に、安全で安心していただける対策を考えていく。



橋の老朽化対策が急務（八幡地内）



牧村範康 議員

全国学力・学習状況調査について

～PDCAサイクルで学力向上を！～

(計画・実施・点検・処置)

町の小中学生の学力は県内他市町村や全国平均と比較してどのような水準と把握しているか。

町長

すべての小学校で30人学級体制がとれるようになり、教育内容の充実をはかつてきた。4年ぶりの学力テストは非常に良いことと考える。また、結果は公表していくべきと思っている。

池田町に暮らす一人ひとりが、子どもたちの未来を思い描き、地域全体で「教育力」を支える社会的気運を高めていくためにも、今回の結果と今後の対策を具体性を持って公開すべきではないか。また、テストの結果をすぐに振り返らせることが必要ではなかったか。

教育長

序列化や過度な競争を招きかねないという懸念から、具体的な公開は差し控える。10月中には町全体の分析、考察、学力向上の為の改善策をまとめてHPで公開し説明責任を果たしたい。テストの結果をすぐに振り返らせる対応はしてなかったが、4ヶ月後に届いた結果を踏まえて個別に確認し合いながら学力向上に活かしていきたい。

PDCAが確立している秋田県（6年連続1位）モデルの導入で成果を上げている県もあるが、池田町としても導入すべき点があるのではないかと。

教育長

教育委員会として、昨年全国2位の福井県へ研修に行った。また、岐阜県の学力向上フォーラムにも出席してきたので、来年度は確実に学力が向上する方策を実践する。保護者にも働きかけていきたい。

具体性のない学力状況調査の記録

小学校						中学校									
学年		国語A	国語B	算数A	算数B		国語A	国語B	数学A	数学B		国語A	国語B	数学A	数学B
H19年	全国	82.2	62	82.1	63.6	全国	81.6	72	71.9	60.6	岐阜県	83.2	76	75.8	65.3
	岐阜県	81.7	66	81.6	64.3	池田町	岐阜県レベル								
	池田町	岐阜県レベル													
H20年	全国	65.4	50.5	72.2	51.6	全国	73.6	60.8	63.1	65.4	岐阜県	75.7	65.3	66.9	65
	岐阜県	65.0	53.2	70.4	52.1	池田町	全国レベル								
	池田町	岐阜県レベル													
H21年	全国	69.9	50.5	78.7	54.8	全国	77.0	74.5	62.7	56.9	岐阜県	79.1	78.5	65.8	62.7
	岐阜県	69.2	51.0	77.2	54.7	池田町	岐阜県レベルより少し上								
	池田町	岐阜県レベル													
H22、23年度は実施なし。24年度は小学校1校のみ実施（平均レベル）、中学は実施なし。															
H25年	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	全国	76.4	67.4	63.7	41.5	岐阜県	77.1	70.2	66.6	45.7
	岐阜県	61.3	49.1	76.2	56.0	池田町	全国レベル								
	池田町	岐阜県レベル													

部活動の社会化について

外部指導者の充実を

要望・昨今、話題になっていく各学校の冷房化について、私は学力向上に大きな影響があると考える。早急に学習環境整備に努めて欲しい。

部活動の外部指導者は、ジュニアスポーツ指導者に援助していただいている。しかし、実質指導者は運動系で14名、文化系では外部指導者はなし。部活の数からすれば、圧倒的に人数が足りないのではないかと。広く「スポーツ指導者人材バンク」を町内もしくは広域で設置して、指導研修や資格認定を行い部活動に対する考えを共有できるようにすべきではないか。他市町のように町費で指導者をお願いすることも検討できないか。その結果、教師の教科の指導が一層充実すると考えるが。

町長

土日の指導や遠征は先生方に相当負担がかかるため、ジュニアスポーツ指導者が応援していると聞いている。池田スポーツクラブからの派遣もあり、非常に良い連携がとれているので、今後もいろんな体制をとりながら進めたい。町費での雇用はしない。教育長

ジュニアスポーツを充実・強化する方向でいきたい。



竹中芳弘 議員

災害時に備えて、シニアパワーを活用した組織づくりを

シニアの豊富な経験で人とのつながりを！



男性の料理教室好評（西公民館）

東日本大震災は、平日の昼間に発生し、働き手の多くは家を空けて働きに出ていました。災害後の復旧の中で、地元シニアの方が連携して、大きな力を発揮しました。シニア男性の一部には、料理教室を利用して、食事を人任せにせず、自分できちんと管理し備えたり、趣味として仲間づくりをする人もふえています。仙台市の料理サークル『仙台男子厨房に入ろう会』のメンバーが避難所での炊き出しで

百数十人のサラダと汁物を提供し、大鍋を取り扱い、男ならではの力仕事を連携して行い、緊急時の食事提供に大きな力を発揮されました。消防庁によると、1990年まで100万人いた消防団員は2012年には87万人に減少しており、少子・高齢化に加えて、就労形態の変化で若年層の会社勤めがふえて、団員の平均年齢は35歳から39歳に上がっている。そういったことから、各地の消防団ではシニアを積極的に活用する試みが始まっている。シニアのエネルギーと知識は宝です。町においてもシニアの力を借りた防災組織が必要だと思うかどうか。

町長

各地域の46集落、区長さんを中心に自主防災組織の中に入れてもらい、シニア部隊を結成してもらおう事も必要と考えている。



杭瀬川改修始まる（赤坂地内）

平成25年度の杭瀬川改修は下流から行われており、赤坂大橋下流700m、上流550mの河道掘削と底下護岸工事、さらに宇留生堰の調査設計費の予算も決まりました。5年以内に南部公園付近まで改修が進むと思うが、見通しと、水位の低下についてはどうか。また南部公園の太陽光

杭瀬川改修の見通しと南部公園の機能について

水位計の解消要請中！

発電基地のさらなる活用、グランドゴルフ、野球競技への活用など見通しは。



南部公園の太陽光発電基地

町長

関係機関に強力にお願いして、5年をめどに努力する。河道が80cmから1m下がるので、水位は40cmから50cm下がる。南部公園については、早く水の問題を解決して多くの方に利用してもらえるようにする。

きらり

今回は、池田町下東野に在住の地産地消をめざしてナスの生産農家としてガンバっておられる北村一見さんを紹介します。



ナス作りとの出会いは！

現役時代の休日は趣味の釣りをして楽しんでいましたが、定年を迎えて、毎日となると飽きてしまい、そんな時に先輩から『ナス』の栽培講習会の話を聞き、父親や地域の先輩の話を聞き、父の道具をもとに栽培を始めました。



子供達も楽しく「ナス」刈り教室

これから目標と夢は何ですか！

『いび川夏秋ナス』の歴史は20年以上あり、早起きは「3文の徳」の諺の通り健康のためにも栽培と収穫をして、消費者の方に喜んでもらいたい。『北村のナスは安心安全でおいしい』と評価してもらい、第2の人生を悔いのないように『ナス』の如く、無理、無駄がなく、太く長く楽しみながら『ナス』を作っていきたい。

編集後記

日本経済もアベノミクス効果で景気が少しずつ回復に向かっている今日この頃、また清流国体から1年が経過し、11月にはパドミントン日本リーグが開催され、池田町の魅力を全国にPRできることが期待されます。国体で得た「おもてなしの心」と「地域の絆」この2つのキーワードをこれからも、後世に受け継がれ「住んで良かった池田町」に町民の皆様と、いっしょになって、まちづくり活動を展開していきたいと思えます。私たちも、正しい情報を、できるだけわかりやすくお知らせできる様、委員一同、努力を重ねてまいります。皆様のご意見をお待ちしております。

(議会広報編集委員 渡辺幸一)



大きく育った自慢の「ナス」

編集 集／池田町議会広報編集委員会

発行責任者／池田町議会議長 若谷真海

住所／〒503-2492 岐阜県揖斐郡池田町六之井1468-1

TEL／0585-45-3111 FAX／0585-45-8314